

拠点名称：「ながさきBLUEエコノミー」海の食料生産を持続させる養殖業産業化共創拠点

代表機関	長崎大学	プロジェクトリーダー	征矢野 清 長崎大学 海洋未来イノベーション機構 機構長／教授
幹事自治体	長崎県	幹事機関	協和機電工業株式会社
参画機関	長崎総合科学大学、高知大学、活水女子大学 長崎市水産センター、日東製網株式会社、株式会社島津製作所、京セラ株式会社、KDDI 株式会社、株式会社ジャパンアクアテック、株式会社極洋、株式会社シーエーシー、福伸電機株式会社、東京産業株式会社、古野電気株式会社、フィード・ワン株式会社、十八親和銀行、東京海上日動火災保険株式会社		

プロジェクトの概要

本事業は、「養殖DXの推進により、若者が集まり活気づく海と生きる地域社会の実現」をビジョンに掲げ、ブリ養殖を柱とした新たな養殖産業を長崎の地から創出し、それによって雇用が生まれ、若者が定着し活気づく地域の構築を目指す。ブリ養殖の技術を高度化し、海外への「JAPAN鰯」販売も視野に入れた生産販売体制を整えるためには、最新の水産学、海洋工学、社会科学からの総合知を導入した分野横断的イノベーションが必要である。「作業を変える」、「育て方を変える」、「働き方を変える」の3つの視点から養殖業の産業化を推し進め、日本人の魚食の回復と世界中の人々の健康に貢献する持続的水産食料生産の拠点を長崎に形成する。

「ながさきBLUEエコノミー」海の食糧生産を持続させる養殖業産業化共創拠点

ビジョン：養殖DXの推進により、若者が集まり活気づく海と生きる地域社会の実現

DXレベル1 ターゲット1：「作業を変える」 生産者の作業負担を軽減する 養殖技術開発	DXレベル2 ターゲット2：「育て方を変える」 海の生物と環境への負荷を軽減する 養殖技術開発	DXレベル3 ターゲット3：「働き方を変える」 若者が魅力を感じる 水産プラットフォームの構築
研究開発課題1 高度管理型養殖システムの開発  ・沖合養殖システム ・海中ロボット (AUV) ・養殖クラウドマネジメントサービス ⇨沖合養殖システム構築	研究開発課題2 環境保全型養殖技術の開発 ・新技術によるブリ種苗生産技術 ・新たな疾病予防技術 ・効果的給餌技術 ・ブリ種苗センター ⇨人工種苗を用いた生産体制構築	研究開発課題3 経営構造の改革と水産業活性化の推進  ・ビジネスモデルの策定 ・産地マルシェ設置 ⇨「JAPAN鰯」販売体制構築

